

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表： 令和3 年 2月 3日

事業所名 放課後等デイサービス ジョイ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5		学習スペースとして個室。身体を動かせ遊べるスペースの確保。落ち着いて玩具で遊べるスペースと個々の特性に応じたスペースが設けられている	全体を見渡せるスペースとなっている。
	2	職員の配置数は適切である	4	1		配置基準を満たしている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	1	昼食は2階の食堂で食事となるが1階で食事をすることは可能。	完全にバリアフリーではないが段差はほとんどない。今後の対策としていく。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	4	1		
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	1	職員間で話し合い保護者の意見を把握し業務改善につなげている。	保護者様の意見を参考にしている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	1		ホームページにて公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	4		保護者様の意見を参考にしているが第三者による外部評価は現在行っていない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3	2		スキル向上の為研修や講習に参加して参加後は学んだ情報を共有している。引き続き積極的に参加していく。
適切 な 支 援 の 提 供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4	1		半年に1度対面でのアセスメントを行い保護者や利用者のニーズに沿った計画書を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5			標準化されたアセスメントツールを応用し状況把握に努めている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5		プログラムの偏りが無いよう複数の集スタッフで行っている	担当者を中心に立案している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5		利用者の意見を参考にすることもある。	個々の課題、目的を考慮しプログラムの設定を考えている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3	2	のびのびチャレンジタイムの時間を活用し様々な活動に取り組めるよう企画している。	個々の状況に応じ計画を立てている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5		集団活動ではここの合同レクリエーションを行っている	個々の状況に応じ活動組み合わせている。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	種世に応じて職員間での連絡ツールを使用し情報を共有している	職員間で支援終了後に情報共有を行い必要に応じ保護者様に伝達を行っている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	複数の職員で見直し正しく記録をおこなっている	実施している。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5		定められた期間で行っている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている			利用者と保護者様のニーズを踏まえガイドラインに示されている必要な項目委をくみあわせ支援している。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5		児童発達管理責任者が出席している。	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	5	ここわと連携し確認しながら送迎の調整を行っている。	保護者から情報提供の他、必要に応じて学校と連携しトラブルのないよう適切に行っている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	4	1		現在対象児はいないが今後利用があった場合各関係機関との連携を整えていく。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	1		保護者や相談支援員からの情報が主になっている為今後の課題とする。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5			相談支援員への情報提供を行っている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	3		公の研修に参加している。必要に応じて保護者の了承を得て各関係機関からの助言を受けている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	4		交流する機会を設けることが出来ないため今後の課題とする。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	1	4		参加することが出来ていないため今後の課題とする。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5		対面での接触が難しいご家庭は電話やショートメール等の連絡ツールを使用し情報の共通理解を図っている	主に送迎時にデイでの様子をお伝えしている。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	3		保護者へ支援していけるよう引き続きスキルの向上を目指す。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5			契約時に行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5			その都度相談支援対応をしている。（その都度スタッフ間で話し合いを行っている）
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	3		コロナの影響を受け開催することが出来なかった。例年は夏祭りを企画しているが保護者参加が年1回と少ないため保護者会等の企画を検討中。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5			個人情報内での対応を行っている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	2	ホームページにてブログや写真等の掲載を行っている。	ホームページ上で日々の活動を掲載している。
	35	個人情報に十分注意している	4	1	鍵の付いた棚に保管している。	最善を尽くしている。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5			最善を尽くしている。
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	4		様々な行事を通じて地域の方との交流を図っていくことを今後の課題とする。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5			ホームページを活用しながら保護者へ周知する。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5			ホームページ上に避難訓練での様子を掲載。避難の流れの理解がしやすいように考慮し視覚的に掲示するなど工夫している。今後は不審者訓練等を検討している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3	2		研修に参加している。今後も積極的に研修に参加していく。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	2	3		現在対象児はいないが今後対象児童がいた場合には十分に説明を行い同意を得る。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5			契約時に保護者様に確認をしている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	1		管理者の会議にて情報共有し、全スタッフに周知し再発防止に努めている。